

科目	公共	学年	第1学年	開講	通年	必修	2 単位
----	----	----	------	----	----	----	------

教科書：第一学習社「高等学校 公共」

副教材：第一学習社「学習事項の整理と問題 公共ノート」

1 学習の到達目標

現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解する。
公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことと議論する力を養う。

2 学習計画及び評価方法

- a 知識技能
- b 思考・判断・表現
- c 主体的に学習に取り組む態度

学期	項目	単元	学習内容	学習のねらい	月	考査	評価の観点 a b c
前期	第1編	公共的な空間をつくる私たち	社会に生きる私たち		4	中間	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
			個人の尊厳と自主・自律				○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
			多様性と共通性				○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
			キャリア形成と自己実現				○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
			伝統や文化とのかかわり				○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	第2編	法的な主体となる私たち	人間と社会のあり方についての見方・考え方		5	期末	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
			実社会の事例から考える～環境保護	・「個人・私」が社会の構成員の一人であることを理解し、個人が選択・判断するための手がかりを考察する。			○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
			実社会の事例から考える～生命倫理	・「結果」と「義務」の考え方について比較し、それぞれの考え方の特徴を理解する。			○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
			のあり方生き方	・公共的な空間を形成するための考え方			○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
			よりよく生きる行為として活動するために	・公共的な空間における基本的原理について学ぶ。			○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
後期	第2編	政治的な主体となる私たち	人間の尊厳と平等	・個人の尊重について、国際社会での取り組みの実態を学ぶ。	6	中期	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
			個人の尊重	・個人の尊重について、国際社会での取り組みの実態を学ぶ。			○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
			民主政治の基本的原理	・個人の尊重について、国際社会での取り組みの実態を学ぶ。			○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
			法の支配	・個人の尊重について、国際社会での取り組みの実態を学ぶ。			○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
			自由・権利と責任・義務	・個人の尊重について、国際社会での取り組みの実態を学ぶ。			○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	第3編	経済的な主体となる私たち	世界のおもな政治体制	・個人の尊重について、国際社会での取り組みの実態を学ぶ。	7	期末	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
			日本国憲法に生きる基本的原理	・個人の尊重について、国際社会での取り組みの実態を学ぶ。			○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
			私たちと生活の法	・個人の尊重について、国際社会での取り組みの実態を学ぶ。			○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
			法と基本的人権	・個人の尊重について、国際社会での取り組みの実態を学ぶ。			○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
			自由・平等と法・規範	・個人の尊重について、国際社会での取り組みの実態を学ぶ。			○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
後期	第2編	経済的な主体となる私たち	法をよりよく変えていくために	・法やルールの意義について理解する。	8	中期	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
			さまざまな契約と法	・契約を結んだら、消費活動をおこなう際に注意すべき点について理解し、実際の事例を基に対策を考える。			○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
			消費者の権利と責任	・公正な裁判のために必要なものを理解し、果たすべき責任について考えを深める。			○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
			裁判所と人権保障	・公正な裁判のために必要なものを理解し、果たすべき責任について考えを深める。			○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
			前 則 授業評価				○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	第3編	地球環境問題	選挙の意義と課題	・民主政治を推進するために果たすべき責任について理解を深める。	9	中期	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
			政治参加と世論形成	・民意や公正の観点から国民の幸福について考察する。			○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
			国会と立法	・国際社会と国内社会を比較し、領土問題や民族問題、地域紛争について考察する。			○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
			内閣と行政の民主化	・国際社会における日本の役割を理解する。			○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
			地方自治と住民の福祉	・国際社会における日本の役割を理解する。			○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
後期	第2編	経済的な主体となる私たち	国家と国際法	・政治的な主導権を握るために果たすべき責任について理解を深める。	10	期末	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
			国境と領土問題	・民意や公正の観点から国民の幸福について考察する。			○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
			国際連合の役割と課題	・国際社会と国内社会を比較し、領土問題や民族問題、地域紛争について考察する。			○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
			平和主義と安全保障	・国際社会における日本の役割を理解する。			○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
			核兵器の廃絶と国際平和	・国際社会における日本の役割を理解する。			○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	第3編	国際社会における日本の役割	今日の国際社会	・政治的な主導権を握るために果たすべき責任について理解を深める。	11	中期	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
			人種・民族問題と地域紛争	・民意や公正の観点から国民の幸福について考察する。			○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
			国際社会における日本の役割	・国際社会と国内社会を比較し、領土問題や民族問題、地域紛争について考察する。			○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
			私たちと経済	・国際社会における日本の役割を理解する。			○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
			労働者の権利と労働問題	・対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などの観点から理解を深める。			○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
後期	第2編	経済的な主体となる私たち	技術革新の進展と産業構造の変化	・雇用と労働における基礎的な知識を学び、経済活動の在り方にについて考察する。	12	期末	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
			企業の活動	・貧困や格差の問題について、個人の尊厳や自由・権利と責任・義務などの公共的な空間の基本的原理を踏まえ考察する。			○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
			農林水産業の現状とこれから	・対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などの観点から理解を深める。			○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
			市場経済と経済運営	・雇用と労働における基礎的な知識を学び、経済活動の在り方にについて考察する。			○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
			市場経済のしくみ	・貧困や格差の問題について、個人の尊厳や自由・権利と責任・義務などの公共的な空間の基本的原理を踏まえ考察する。			○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	第3編	地球環境問題	経済発展と環境保全	・環境問題やエネルギー問題、生命倫理など、現代社会におけるさまざまな課題について理解を深める。	13	中期	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
			経済成長と国民福祉	・ともに生きる社会を築くという観点から課題を見出し、社会的な見方や考え方を総合的にはたらかせ探求活動ができる。			○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
			金融の意義や役割	・環境問題やエネルギー問題、生命倫理など、現代社会におけるさまざまな課題について理解を深める。			○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
			政府の経済的役割と租税の意義	・ともに生きる社会を築くという観点から課題を見出し、社会的な見方や考え方を総合的にはたらかせ探求活動ができる。			○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
			社会保障と国民福祉	・環境問題やエネルギー問題、生命倫理など、現代社会におけるさまざまな課題について理解を深める。			○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
後期	第2編	国際分業と国際貿易体制	国際分業と国際貿易体制	・ともに生きる社会を築くという観点から課題を見出し、社会的な見方や考え方を総合的にはたらかせ探求活動ができる。	14	期末	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
			国際収支と為替相場	・環境問題やエネルギー問題、生命倫理など、現代社会におけるさまざまな課題について理解を深める。			○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
			経済のグローバル化と日本	・ともに生きる社会を築くという観点から課題を見出し、社会的な見方や考え方を総合的にはたらかせ探求活動ができる。			○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
			地域的経済統合の動き	・環境問題やエネルギー問題、生命倫理など、現代社会におけるさまざまな課題について理解を深める。			○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
			国際社会における貧困や格差	・ともに生きる社会を築くという観点から課題を見出し、社会的な見方や考え方を総合的にはたらかせ探求活動ができる。			○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	第3編	地球環境問題	地球環境問題	・環境問題やエネルギー問題、生命倫理など、現代社会におけるさまざまな課題について理解を深める。	15	中期	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
			資源・エネルギー問題	・ともに生きる社会を築くという観点から課題を見出し、社会的な見方や考え方を総合的にはたらかせ探求活動ができる。			○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
			生命倫理	・環境問題やエネルギー問題、生命倫理など、現代社会におけるさまざまな課題について理解を深める。			○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
			情報	・ともに生きる社会を築くという観点から課題を見出し、社会的な見方や考え方を総合的にはたらかせ探求活動ができる。			○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
			国際社会の課題	・環境問題やエネルギー問題、生命倫理など、現代社会におけるさまざまな課題について理解を深める。			○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
後期	第2編	国際社会の課題	後 則 授業評価		16	期末	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
							○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
							○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
							○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
							○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	第3編	地球環境問題			17	中期	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
							○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
							○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
							○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
							○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

3 評価の観点

各観点100点満点で算出する。

- 知識・技能 : 考査素点 70%+課題等 30%
- 思考・判断・表現 : 考査素点 60%+課題等 40%
- 主体的に学習に取り組む態度: 平素の授業態度、提出物、発表等…100%